

平成 23 年 10 月 17 日

特別講演会開催のお知らせ

流体科学研究所 高木敏行

流体科学研究所では、古村一朗客員教授をお招きして特別講演会を開催いたします。古村客員教授は東芝および発電設備技術検査協会において長きにわたり機器構造物における健全性評価に関してご研究されております。本講演会では、非破壊検査ならびに超音波探傷技術の我が国での取り組みと現状についてお聴きするよい機会ですので、ご関心をお持ちの方はぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

講師： 古村一朗（東北大学流体科学研究所・客員教授）

場所： 東北大学流体科学研究所 2 号館 大講義室

第 1 回目

日時： 10 月 28 日（金） 15:00～16:15

題目： 非破壊検査の必要性和超音波探傷技術の基礎

概要： 機器構造物における健全性評価の考え方の変化とそれに伴う規格・基準の変化と非破壊検査の必要性について、非破壊検査手法の中における超音波探傷試験の位置づけ、および超音波探傷試験の基礎知識について述べる。

第 2 回目

日時： 11 月 15 日（火） 15:45～17:00

題目： 超音波探傷技術の信頼性に係る国の実証試験

概要： 超音波探傷試験技術の能力・精度・信頼性について、原子力機器を対象として行われた種々の国プロ（実証試験）について、その成果の規格・基準への反映について、および実機プラントにおける損傷事例が元となって制定された超音波探傷試験の個人認証制度（PD 制度）について述べる。

第 3 回目

日時： 12 月 14 日（水） 15:30～16:45

題目： 超音波探傷技術の変遷と動向

概要： 超音波探傷試験技術の変遷に関して振り返るとともに、近年、多用されるようになった比較的新しい探傷技術・新しい適用対象の技術内容・事例について、および近年の国の事業で行われた新しい技術開発の状況を紹介する。

連絡先： 流体科学研究所

高木 敏行

TEL 022-217-5248

Email: takagi@ifs.tohoku.ac.jp